



# アロガレス

前進しよう・向上しよう・飛躍しよう

## 第163回東信高等学校体育大会テニス競技実施要項

- 期 日 平成30年5月11日(金)～13(日)〔予備日14日(月)〕
- 会 場 男子：上田古戦場公園テニスコート(11～13日)〔予備日14日(月)〕  
女子：佐久市臼田運動公園テニスコート(12～13日)〔予備日14日(月)〕  
上田古戦場公園テニスコート(11日)  
(11日に団体戦、男子は個人戦シングルス1R、2Rが入る可能性がある。  
12日に個人戦シングルス、13日に個人戦ダブルスを予定)
- 受 付 8時～8時10分(各会場)
- 開 会 式 11日(金)8時50分予定(古戦場)  
12日(土)、13日(日)8時40分より選手ミーティング後、競技開始(各会場)  
※ 監督連絡会：3日間とも8時15分予定
- 主 催 東信高等学校体育連盟  
後 援 上田市教育委員会  
主 管 東信高等学校体育連盟テニス専門部
- 大 会 長 田澤直人(野沢北 高等学校長)
- 競技役員 トーナメントディレクター 猿谷大和(野沢北)  
レフェリー 正村真一(上田西)  
アシスタントレフェリー 菊池文明(上田)  
競技委員 総務 宮尾秀彦(佐総)、込山智史(軽井沢)  
正村真一(上田西)、  
救護 岩下智昭(佐久長聖)、村山美耶子(染谷丘)
- 補 助 員 男子：野沢北(7名)、上田(3名)、軽井沢(2名)、佐総(2名)  
女子：上田西(5名)、上田(4名)、上田染谷(4名)、軽井沢(1名)  
※ 補助員は7時45分までに集合  
※ 本部補助員(男子：野沢北、上田、女子：上田西、上田)

### I 競技方法

- (1) 組み合わせは、昨年度までの結果や実績、長野県ジュニアシード基準表などを参考に決定した。
- (2) 団体戦は、男子についてはトーナメント戦を行う。女子は代表決定リーグならびに順位決定トーナメントを行う。女子は各リーグの上位2校が県大会出場となり、その各リーグ上位2校によって順位決定トーナメントを行う。試合方法は、1セットマッチで、6-6となった場合はタイブレイクとする。

男子団体トーナメントの初戦、女子代表決定リーグは3対戦すべてを行う。以降は勝敗が決定し次第、ポイントで打ち切りとする。

- (3) 団体戦はダブルス1組、シングルス2本でチームを編成する。
- (4) 団体戦の1チームは、シングルスの実力順位にNo.1からNo.5まで5人を登録し、ダブルスは5人中任意に1組をつくり、シングルスは残りの3人中どの2人を出しても良いが、登録の順にしたがってS1、S2を決め、S1同士、S2同士が対戦する。
- (5) 個人戦シングルス・ダブルスの試合方法は、1セットマッチで、6-6となった場合はタイブレイクとする。ただし、天候等の状況により変更する場合がある。
- (6) 試合球はウィルソン（男女:エクストラデューティー）を使用する（専門部で用意）。  
男子は団体戦、個人戦共に敗者校又は敗者が、セットボールを缶ごと持ち帰る（個人戦における県代表の順位決定戦は本部へ返却する）。  
女子の団体戦はセットボールを本部へ返却する。個人戦は敗者がセットボールを缶ごと持ち帰る。
- (7) 団体戦は男女とも上田古戦場会場、個人戦シングルス、個人戦ダブルスは各会場で実施するが、天候や試合の進行状況等により変更する場合がある。  
団体戦は1位から4位、個人戦シングルスとダブルスは1位から8位までの順位をつける。

## II 審判

- (1) 団体戦は本部で指示する（試合のない学校や敗者校が審判を行う）。
- (2) 個人戦は、各コートでの初戦のみ本部で指示し、それ以降は原則そのコートの敗者が審判する。
- (3) 主審・副審で行うことを原則とするが、主審のみでも可とする（選手は全員が確実に審判できるように準備すること。審判の方法については長野県高校テニスのHP「テニスハンドブック」を参照。）。

## III 表彰・上位大会

- (1) 団体戦、個人戦とも3位まで表彰状を与える。表彰式はすべての種目が終了している場合は、日曜日に行う予定。なお団体戦は上位4チーム、個人戦シングルスとダブルスは上位8名（8組）が県大会（長野市南長野運動公園）への出場権を得る。
- (2) 県大会への出場を決めた選手は、県大会参加料（1人1000円）は、今大会終了時に各校男女別にまとめて、本部まで提出のこと [その際、監督・出場者（順位）の確認がある]。

## IV その他

- (1) ボール代1缶（600円）×（団体戦3組+個人戦シングルス数+個人戦ダブルスペア数の合計数）を、大会初日に各校まとめて本部まで提出すること。
- (2) 服装はテニスウェア（ショーツは膝の隠れないものを着用する事・ウォームアップについても規定の物を着用する事）とする。茶髪、ピアスなどは禁止とし、出場停止もありうる。
- (3) 団体戦の場合のみ、監督または団体戦登録選手がベンチに入ることができる。
- (4) ボールパーソンは、自校選手が出場するシングルスにおいて1人ずつつけることを原則とする。
- (5) その他、日本テニス協会のルールに準じて行う。
- (6) 敷地内でのボールを使用した練習はしないこと。
- (7) 体育施設使用については、使用上の注意を守ると共に、飲食等は所定の場所とし、ゴミは必ず持ちかえる（途中で捨てないこと）とともに、各校で施設敷地内の美化に努めること。
- (8) 前回大会の優勝校は、優勝カップを持参すること。
- (9) メディカルタイムアウトは適用しない。怪我や病気等の対応は各校が行うこと。
- (10) 選手は任意保険に加入すること。また、感染症対策を充分に行うこと。
- (11) 試合は最大19：00まで行うので、帰りが遅くなる旨を保護者に連絡しておくこと。